

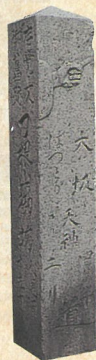


古道を訪ねて ②

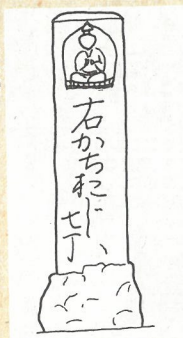
巡礼道 (勝尾寺→中山寺) ③

「右中山」「左大坂」と刻まれた道標の示すとおり、中山寺をめざして、右の道を100mほど行った先の三叉路にも道標(写真①)があります。南向きに建てられたこの道標は、正面に『馬頭観音』を浮き彫りにして、その下に「右かちをじへ七丁」の文字を刻み、南(白島方面)から勝尾寺へ向かう旅人に方向と距離を示す役割を果たしています。右面には尼になった女性、左面には男女2人の計3人の「戒名」があります。

中山寺へ向かうにはこの三叉路を左へ行きますが、右へ行くと勝尾寺と政の茶



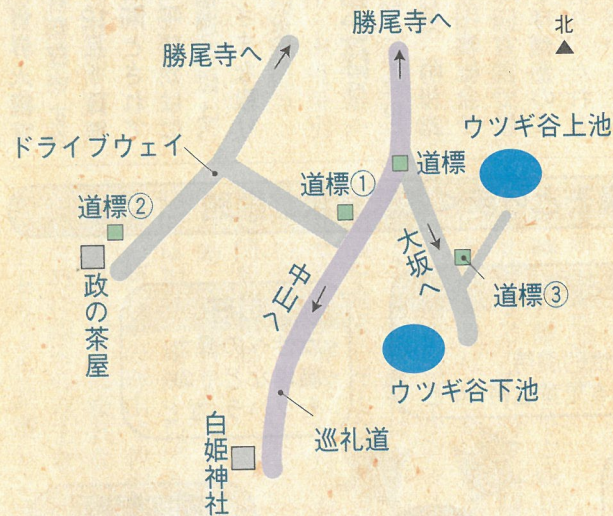
▶道標①



◀道標②



屋の間のドライブウェイに出ます。政の茶屋付近にも、馬頭観音を刻んだ道標(写真②)があるほか、外院の「ウツギ谷下池」の東側の、勝尾寺と大坂を結ぶ旧道脇でも最近馬頭観音が刻まれた道標(写真③)が発見されています(昔の道標をどなたかが建て直した)。3本の道標は形がそっくりで、正面によく似た筆跡で「かちをじ」の文字があるなどの共通点が多いことから、同じ人が「巡礼道」、「勝尾寺→大坂道」、「箕面川に沿って勝尾寺へ向かう道」の3本の道それぞれに道標を寄進したことが推測されます。



話が伝えられています。3本の道標が建っている場所はいずれも追い剥ぎが出そうな、人里離れた寂しい場所ですので、怒りの表情で悪を蹴散らす馬頭観音を、道標に刻んだ理由が分かるような気がします。

▶道標③

